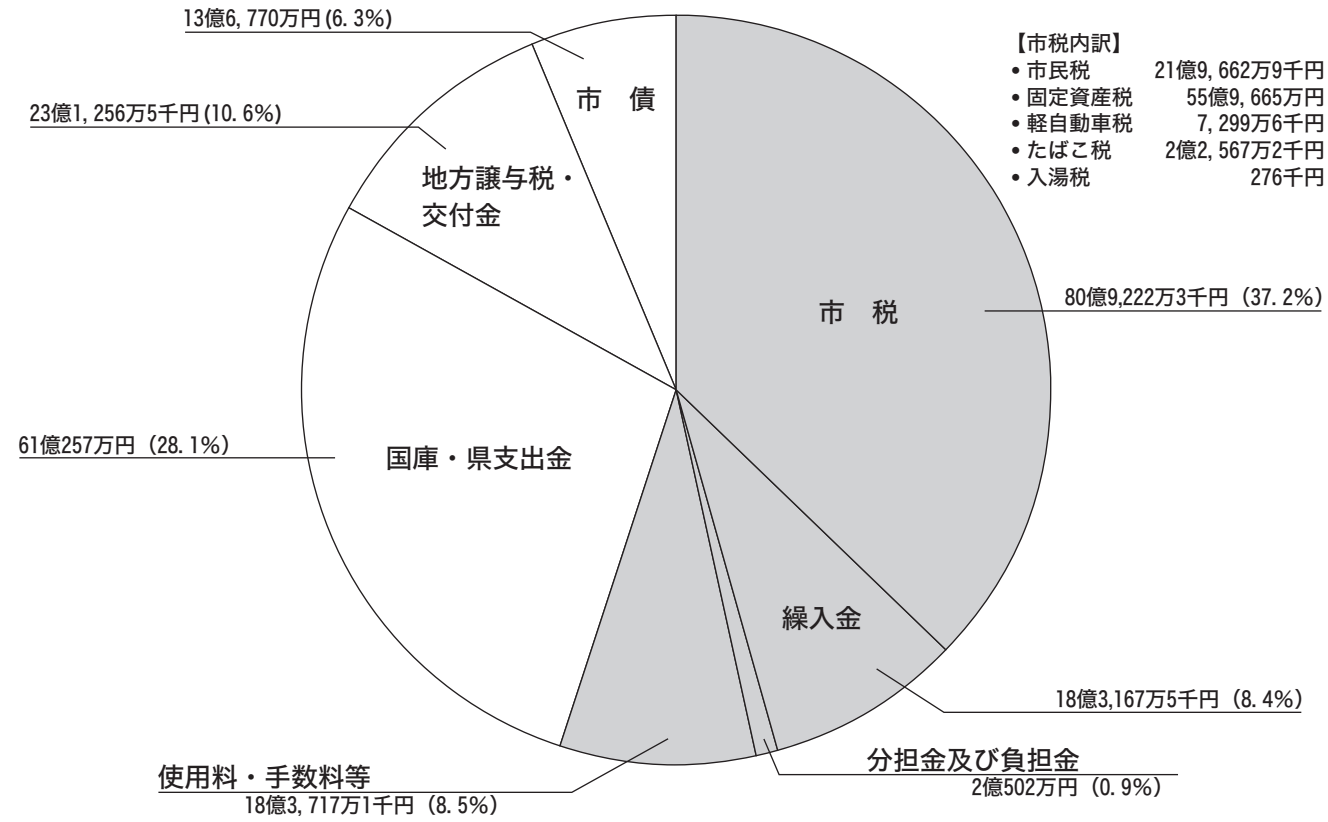


特集

御前崎市の家計簿



- 【市税内訳】
- 市民税 21億9,662万9千円
 - 固定資産税 55億9,665万円
 - 軽自動車税 7,299万6千円
 - たばこ税 2億2,567万2千円
 - 入湯税 276千円

御前崎市の家計簿

平成16年度御前崎市決算報告

合併後初となる平成16年度御前崎市の一般会計や特別会計の決算が、市議会9月定例会で報告され承認されました。
 平成16年度一般会計歳入は217億4,892万4千円、歳出は197億6,853万5千円でした。



自主財源
119億6,608万9千円
(55.0%)

依存財源
97億8,283万5千円
(45.0%)

※金額は千円未満四捨五入

一般会計の歳入決算額は、二百十七億四千八百九十二万四千円でした。
 市税や財産収入、繰入金、分担金などを加えた財源を自主財源と呼び、百十九億六千六百八十九千円となり、歳入総額の五十五割を占めています。
 また、市税の総額は、八十億九千二百二十二万二千円で歳入の三十七・二割を占めています。
 国庫・県支出金や地方譲与税などの依存財源の合計は、九十七億八千二百八十三万五千円となりました。

歳入

217億4,892万4千円

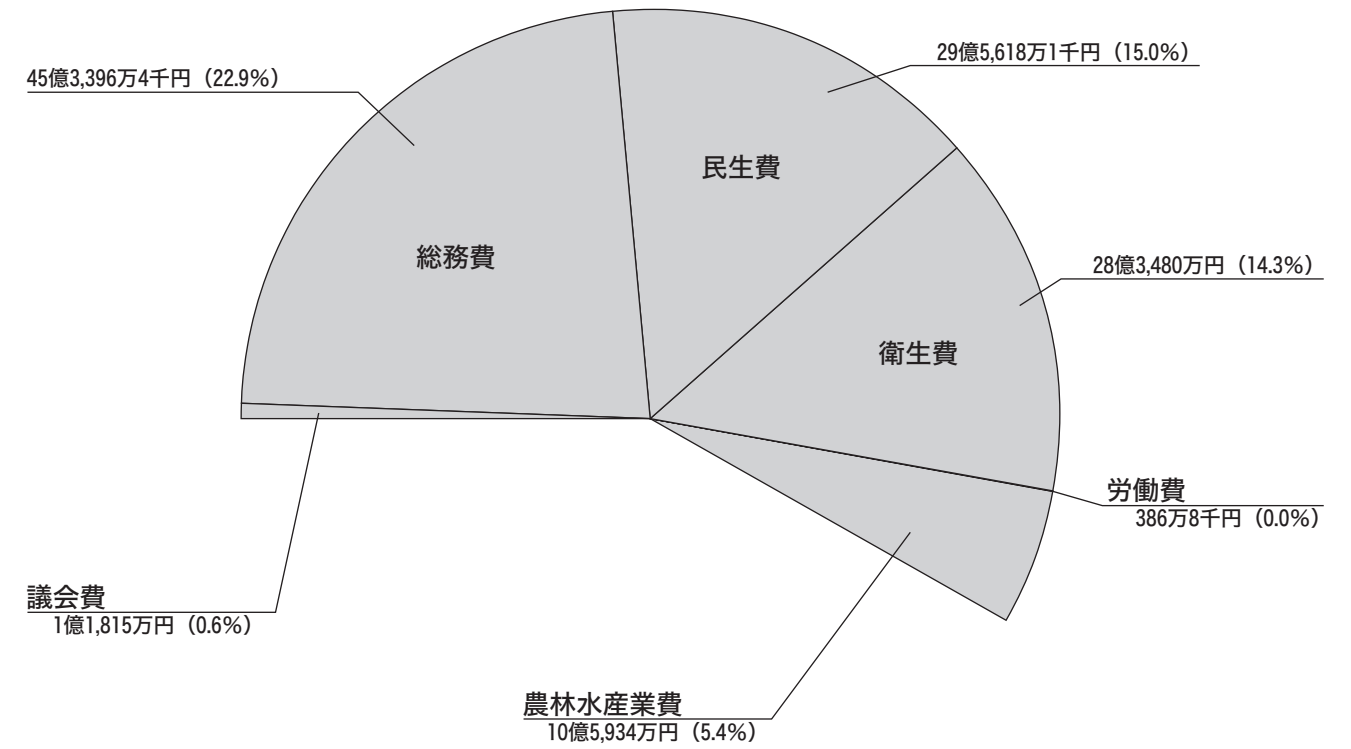
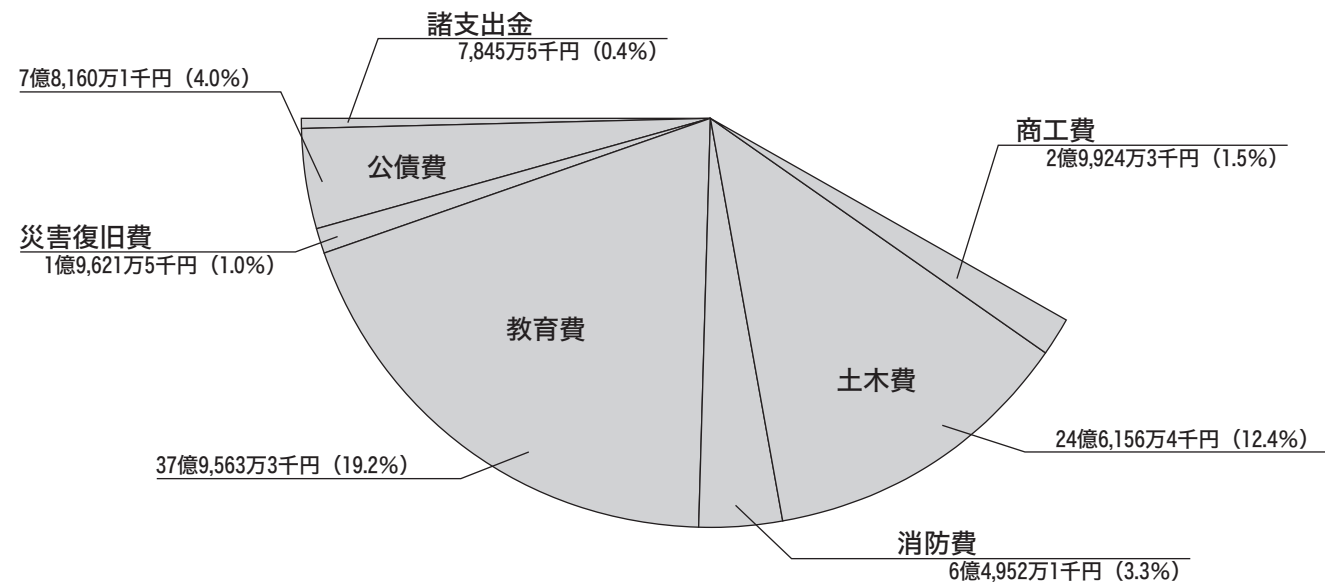
項目	金額 (円)
たばこ税	6,392円
軽自動車税	2,068円
固定資産税	158,523円
市民税	62,219円
市税全体で	229,209円

市民一人あたりが納めたお金

平成16年4月1日現在の人口(35,305人)で算出。
 ※市民税・固定資産税については、法人関係も含まれています。

特集

御前崎市の家計簿



■平成16年度 各会計決算総括表

単位：千円

区分	歳入 A	歳出 B	差引(A-B)
一般会計	21,748,925	19,768,535	1,980,390
特別会計			
国民健康保険	3,131,867	2,951,932	179,935
老人保健	2,946,912	2,854,397	92,515
介護保険	1,823,814	1,796,602	27,212
農業集落排水	1,096,961	1,017,156	79,805
公共下水道	1,433,668	1,347,069	86,599
有線放送電話	90,747	90,747	0
企業会計			
水道事業	993,208	974,260	18,948
資本的収支	505,535	673,006	△167,471
病院事業	4,303,141	4,368,061	△ 64,920
資本的収支	0	308,776	△308,776
合計	38,074,778	36,150,541	1,924,237

※収益的収支とは

収益的収入は、水道料収入や病院の入院・外来の診療収入など。支出は、材料費や電気料、職員の給与などです。

※資本的収支とは

資本的収入は、企業債や水道工事負担金収入など。支出は、病院の医療機器の購入や水道管敷設などの投資的経費と企業債の償還金などです。

歳出

197億6,853万5千円

一般会計の歳出決算額は、百九十七億六千八百五十三万五千円でした。歳出の中で最も大きなウェイトを占めているのが総務費で、四十五億三千三百九十六万四千円となり、歳出総額の二十二・九割、次いで教育費が三十七億九千五百六十三万三千円となり、歳出総額の十九・二割を占めています。各費目の主な事業を紹介します。

- 総務費** ケーブルテレビ施設整備事業や情報管理業務など。
- 教育費** 学校校舎整備や社会教育・社会体育施設整備事業など。
- 民生費** 高齢者への福祉タクシー券配布や障害者・児童福祉事業など。
- 衛生費** 病院管理運営やゴミ処理事業など。
- 土木費** 道水路・河川の維持改修事業など。

<p>教育費</p> <p>107,510円</p>	<p>消防費</p> <p>18,397円</p>	<p>土木費</p> <p>69,723円</p>	<p>農林水産業費</p> <p>30,005円</p>	<p>市民一人あたりが 使った金</p>
<p>市民一人あたりが 使った金</p>				

<p>衛生費</p> <p>80,295円</p>	<p>民生費</p> <p>83,733円</p>	<p>総務費</p> <p>128,423円</p>	<p>全体</p> <p>559,936円</p>	<p>市民一人あたりが 使った金</p>
<p>市民一人あたりが 使った金</p>				